

一般社団法人日本蕎麦協会
令和2年度第32回全国そば優良生産表彰事業 2次審査調書
<記入見本>

提出日	令和 2年 〇〇月 〇〇日
年産 (いずれかに <input checked="" type="checkbox"/>)	<input checked="" type="checkbox"/> 令和2年産 <input type="checkbox"/> 令和元年産
種別 (いずれかに <input checked="" type="checkbox"/>)	<input type="checkbox"/> 農家 <input checked="" type="checkbox"/> 集団
ふりがな 氏名・集団名	農事組合法人日本蕎麦協会
代表者役職 (集団のみ)	代表理事組合長
ふりがな 代表者氏名 (集団のみ)	蕎麦 太郎
住所・所在地	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-4
連絡先	電話：03-1234-5678 携帯：090-1234-5678
調書記入責任者連絡先 (上記と同じ場合は記入不要)	名称：蕎麦市役所 部署名：農政部農政課 担当者名：蕎麦 二郎 電話：03-1234-5678 携帯：090-1234-5678 電子メール：sobajiro@sobacity.jp

※種別が「集団」の場合のみ下記をご記入ください。なお、別添資料として、定款・規約をご提出ください。

設立年月日	昭和60年 4月 1日
設立の趣旨	当該地域の耕作放棄地の活用のため、蕎麦栽培等の受託を行うため、設立した。
設立後の推移	昭和60年 4月 設立 平成 5年 4月 受託面積を拡大 (10ha) 平成10年 4月 受託面積を拡大 (20ha) 平成18年10月 〇〇〇賞受賞
集団活動としての特色	<ul style="list-style-type: none"> ・機械の共同利用などにより、コスト削減と労働生産性の向上につなげている。 ・地域の耕作放棄地の有効活用に結び付き、地域貢献に結び付いている。 ・「〇〇そば祭り」を地元自治体と共同で開催し、生産したそばの消費拡大を図っている。

①概況

構成農家戸数（戸） （集団のみ記入）	専業農家	兼業農家 （第1種）	兼業農家 （第2種）	計
	10	5		15
経営耕地面積（a）	田	畑	その他	計
	1000	3000		4000
そばの作付面積（a）	田	畑	その他	計
	1000	1000		2000
専業・兼業の別（いずれかに☑） （農家のみ記入）	<input type="checkbox"/> 専業 <input type="checkbox"/> 第1種兼業 <input type="checkbox"/> 第2種兼業			
後継者の有無（いずれかに☑） （農家のみ記入）	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
農業従事者数 （農家のみ記入）	総数		内・そば栽培従事者	

②立地条件

県内における位置	・当該ほ場の県内におけるおおよその位置を記入してください。
地域の概況 （標高・地形・土壌・基盤整備・排水等）	・地域の概況、特徴について簡単に記入してください。
栽培ほ場の特徴	・排水性や傾斜、特殊な土壌などについて記入してください。
その他	・その他特記事項があれば記入してください。
地域の気象条件 （平均気温・降水量等）	・平均気温、降水量の他、日照等について記入してください。
そばの生育に影響したと 考えられる条件	・台風など当該年のそばの生育に影響した条件を記入してください。

③そば栽培

品種名	作付面積 (a)	収穫量 (kg)	食用	種子用	くず粒	単収 (kg/10a)
			(kg)	(kg)	(kg)	
キタワセソバ	2000	15,000	11,000	3,000	1,000	75
合計	2000	15000	11000	3000	1000	
作付面積および単収の推移 (当該年産と過去2年間)	年産	作付面積 (a)	単収 (kg/a)	播種様式・条間 (cm)	単収増減の理由	
	当該年	2000	75	条播・10		
	前年	2000	50	条播・10	台風による倒伏	
	前々年	2000	65	条播・10		
作付体系	田	そば～小麦～そば				
	畑	そば～小麦～そば				
そばの品質 ※種子の場合は等級の ところに「合」を記入	品種名	等級	備考			
	キタワセソバ	1				
そばの出荷	出荷先					割合 (%)
	JA〇〇					80
	地元蕎麦店					20
	収穫量のうち出荷量の割合					100
出荷量のうち契約出荷の割合					80	
経営における そばの位置づけ	内容	粗収益 (円)		単価・備考		
	玄そば販売	3,730,000		平均 14,850円/45kg		
	種子販売	0		平均 0円/45kg		
	そば粉販売	5,184,000		平均 2,400円/kg		
	交付金	646,000				
	計			対経営全体比：80%		

④作業別労働時間・機械化の現状

作業名	作業期間	使用機械等	所有 (個人・共同等)	労働力 (人)	作業時間 (分/10a)	備考
排水・溝堀	7/28～ 8/4	トラクター 溝堀機	個人	1	20	
元肥散布	8/5～ 8/17	播種同時施肥機 ブロードキャスター	共同	1	25	
耕起	7/25～ 7/27	トラクター ロータリー耕	個人	1	20	深度：10cm
整地	-	-	-	-	-	
播種	8/5～ 8/17	ドリルシーダー	個人	1	20	播種量：5kg/10a 播種様式：条播
防除	9/20～	動力噴霧器	共同	1	30	
追肥	-	-	-	-	-	
中耕	-	-	-	-	-	
除草	9/20～	草刈機	個人	1	30	
培土	-	-	-	-	-	
収穫	11/1～3	汎用コンバイン	個人	1	30	黒化率：70%
乾燥	11/1～3	J Aに委託	-	-	-	乾燥方法：通風
調製・袋詰等	11/4～	J Aに委託	-	-	-	
計					175	2.916666667

⑤生産費

費用		金額 (円/10a)	費用の内訳
物 財 費	種苗費	4,000	種子購入
	肥料費	4,500	そば専用有機肥料〇〇 3,000円/20kg 30kg/10a使用
	農業薬剤費	1,500	〇〇〇〇 1,500円/500ml 500ml/10a使用
	光熱動力費	5,000	
	諸材料費	500	袋代、検査手数料
	土地改良 ・水利費	0	
	賃借料 ・料金	8,000	収穫委託費 8,000円/10a
	租税公課	2,000	
	建物費	2,500	
	農機具費	8,000	
	生産管理費	0	
労 働 費	自家労働	6,000	@ 1,500 円/時間×4.0 時間/10a
	雇用労働	0	@ 円/時間× 時間/10a
計（費用合計）		42,000	

※費用の分類は農業経営統計調査（生産費調査）の費用分類を参考にしてください。

⑥技術上の工夫

(例) 排水対策・湿害対策・倒伏防止策・地力維持・種子更新実施・優良品種導入・乾燥、調整方法など

・技術上の工夫について、特に力を入れていることを記入してください。

⑦経営上の特色

(例) 機械化推進・作業効率化・コスト低減・作付体系・契約栽培・地域活性化・6次産業可化など

・コスト削減や地域への貢献等、生産者の特色ある経営について記入してください。

⑧今後の課題

(例) 次年度以降の作付計画・技術改善・経営改善等

・次年度以降の作付の拡大や技術・経営上の改善について予定・計画していることを含め、記入してください。